

学校におけるアレルギー対応に関する委員会議事概要

開催日：令和3年11月11日（木）

時 間：15:30～17:00

会 場：新潟市役所ふるまち庁舎 4階 402 会議室

《議事》

議題1 学校におけるアレルギー対応の概況について

（委員） 学校では除去しているが家では食べている子もいる。生徒本人に対してスクールランチのアレルギー献立の細かい確認の仕方を指導することも必要。新たな食品については、今までちゃんと食べてこなかったり、残したりしていたものを、たまたま食べて出たのかもしれない。管理指導表を受け取った側も、給食ではこのくらいの量が出るけど本当に大丈夫なのかと確認する。

（委員） 今年は何れが多いと感じた。中学生のランチの事故が増えた。昨年度2件から4件。自分で選ぶので誤食が起きにくいかと思っていたが、取り違える事例が結構ある。チェックはどうなっているのか。後で券を確認して気づくのでは遅い。学校ではスクールランチの確認をどのようにしているのか。

（事務局） 以前勤務していた中学校では、列に並んで受け取る手前で、係の生徒がチェックしていた。業者の方もいて券を受け取ったりしているが、確認を業者にお任せするだけでは難しいと思われる。

（委員） 確認の方法については課題。保健給食課で検討し学校に提案してほしい。

（委員） 運動誘発アナフィラキシーについては、学校の昼休みは運動量が多いこと、運動誘発は年齢がいつから出てくることもあるため、予測ができないことがある。どこまで制限するか、家では食べられるようになっても給食で解除するかは難しい。

（委員） 確認する手立ては、食べて走って症状が出るかを見るしかない。症状が出ても対応できる大きい病院でないとできない。検査をしても病院では出ないとか疲れていないと出ないなど、診断を確定することがとても難しいことを知っておいてほしい。

また、運動後に症状が出ても、食物アレルギーで運動誘発アナフィラキシーではないケースもある。運動はきっかけの一つ。給食後に症状が出てもすべてが運動誘発とは限らない。

（委員） 事故数が増えているのには原因がある。先生方も自分が経験しないとなかなか自分事にならない。経験するとドキッと自分事になる。改善への意見を募って「ヒヤリハット集」を作るなど、現場からの提案を拾い上げてほしい。

議題2 アレルギー疾患への対応研修会について

（委員） 担任の間違いや、アレルギー対応について忘れていた事例がある。養護教諭や管理職の研修はあるようだが担任の先生方が対応について学ぶ機会があるか。

(事務局) 7月に実施した研修は管理職や養護教諭、栄養教諭などを対象にしているが、各学校で取り組んでいるアレルギー研修は担任も一緒にエピペンの実習やシミュレーションの研修をしている。また、新採用研修でもアレルギー研修の時間を確保しており、すべての先生がアレルギー対応について学んでいる。

(委員) 今年は病院からオンラインでアレルギー研修を行った。参加している方の反応がわからなかった。質問があまり出なくて、オンラインに慣れないのか、質問しづらいのかなと思ったが、たくさんの方に参加してもらえたり、養護教諭だけでなく担任の先生方にも参加してもらうには、ライブだけでなく録画して動画配信などで、期間を区切って配信できれば、すべての教職員に見てもらえるようにできるのではないかと。1年に1回でも見てもらう機会があれば、アレルギーの知識も増え、単純ミスも防げるかもしれない。再来週、市保育課で事故防止の動画配信を行う。ライブだけでなくいつでも見てもらえるようにする方法として、学会もWeb配信が増えた。いつでも繰り返し見られるのがいい。

(委員) 動画配信は、無認可施設の参加に有効だった。最後に問題をだして答えられたら認定書をだしたりもしている。メールで認定書を送ればいいので、そのような取組もある。

議題3 学校生活管理指導表の押印について

(事務局) 令和2年7月に閣議決定された国の方針において、行政手続きにおける書面規制、押印等の見直しを行うこととされている。新潟市でも押印廃止手続きが進められている。これまで管理指導表についても医師の押印を求めていた。ただ、これについては、簡単に廃止できるものではなく、医療機関から出される診断書に準じた対応が必要ではないかと考えている。診断書等、医療機関や薬局で取り扱う書類について、押印の取扱がどのようになっているか、先生方に教えていただきたい。

(委員) 電子カルテ上でサインしている。署名があれば(印が)いらない場合もあるが、すべての書類の押印が廃止とはなっているわけではない。管理指導表について4月から有料ではなくなる。診断料の一部になる。

(委員) 処方箋は医師の自筆であればOK。自筆でないと印がない場合は問い合わせしている。

(委員) 自筆によるサインか押印している。押印は廃止にはなっていない。管理指導表はホームページから誰でもダウンロードできる書類であるため、不適切に使用されてしまう懸念がある。自分は自筆のサインと押印もして保護者に渡している。

(委員) 病児保育の医師の指示書は押印不要となっている。

議題4 種実類の提供について

(事務局) 令和3年度の新潟市の児童生徒の原因食品は種実類、木の実類が一番多くなった。新潟市の学校給食は標準献立を作成し、各学校で運用する方法をとっている。標準献立はピーナッツ、キウイフルーツ、そばは使用せずに作成している。令和2年度は、くるみによる初発が1件、カシューナッツによる初発が4件あった。今年度はくるみによって発症したという事例があった。この事例は、小さい頃

にくるみで症状があったが、それ以降は症状がなかったことから管理指導表の提出がなく給食で食べて発症した事例。ほぼ 100%の施設で使用しているアーモンドと比較すると、くるみは使用しないという判断をする施設もあるし、反対に、標準献立にない月でも年間を通じて使用している施設もあるというのが実態。学校給食は児童生徒の健康の増進や食育の推進を図るために望ましい栄養量で提供するものであり、家庭での食事で摂取量が不足していると推測される栄養素を、可能な範囲で補う工夫がされている。給食を通して、様々な食品や料理を経験したり、郷土料理から学んだりしたりするものでもある。このような給食のあり方から考えると、ナッツ類を給食に使用しないとするのは食育と栄養管理の観点から厳しいのではないかと考えている。ご意見を伺いたい。

(委員) 種実類の提供状況に学校ごとに差がある。ナッツ類単体でアレルギーがある子も重なっている子もいる。頻度が少ないので見逃しがちだが、外食等でもナッツ類は注意が必要になっている。ナッツ類の提供については、リスクを避けて出さないのも一つだし、多くなってきているので、今年も現行のままでも検討していく必要がある。

キウイについては、口腔アレルギー症状のみケースが多い。ピーナッツは重症になりやすいが給食では出ないので安心。そばは頻度は少ないがアナフィラキシーになりやすい。栄養なのかアレルギーの防止なのか目的によって方針を変えていく。ただ、ナッツのアレルギーは増えているので、単年では難しいが何年かかけて決めていく必要がある。

(委員) カシューナッツの初発が昨年 4 件もあり目立っていた。日本アレルギー学会の全国調査でも増えている。ピーナッツが有名だったが、木の実類特にくるみが増えている。カシューナッツとピーナッツは横ばい。ナッツ類を食べる機会が増えている。輸入量も増えている。ナッツ類に触れる頻度が上がっており、乳幼児でも増えている。クルミは消費者庁が特定品目に入れるか検討している。学校給食に入れるのは難しくなっている。

(委員) クルミは数が増えている。カシューナッツはアナフィラキシーを発症する確率が高い。強い症状が出やすい。クルミはカシューナッツよりも増えてきている可能性がある。段階的に、クルミ、カシューナッツはどちらか 1 つずつでも出さない方向に考えてはどうか。ナッツ類は親がつまみでとっているので感作を受けている人もいる。子どもを取り巻く環境においても、輸入量においても増えている。新潟はクルミが多い。つくだ煮や太巻きにも入っている。

(委員) 食育推進会議、委員の立場で伝統食を進めている。

(委員) 北海道の千歳市で主要のアレルギー 3 品目を使わない献立を作っている。難しいのでは？という声が多かったが、意外とできた。千歳市ほど極端でなくてもいいが…。

(委員) 勤務校にはクルミアレルギーの子がいて献立から抜いている。赴任してから 2 年間使っていない。カシューナッツは、自分の勤務日で、午後に養護教諭の出張がなく、5 時間目に授業がある日と相談して出す日を決めている。栄養教諭の立場からは、いろいろな食品を経験する機会を奪わないでほしい。

(委員) 保健師・助産師として訪問などをする立場からは、若い世代やお母さんたちもナッツ類をよく食べている印象がある。スーパーでもよく見かけるし食べられている。アレルギーがあるとわかっている子はいいが、ノーマークの子が心配。意識せず食べてこなかった子もいる。子どもの食生活が変わってきていて、前よりもいろいろな食品を食べていない。

(委員) 特別支援学校に勤務しており偏食の子が多い。アレルギーの子はもちろん、食べたことがないものについては入学前に食べてみてもらうようにしている。カシューナッツについては記入欄が小さかったなので、欄を大きくした。

(委員) 発達障害の子は食べ物が偏っている。特定のものだけしか食べない子もいる。子どもが食べるものだけを出そうという親が多くなっている。種実類の対応について、政令市にアンケートを取ることができるか？

(事務局) いろいろな課題があるので十分検討していく。

(委員) 保健給食課で、検討していただく。

(委員) 現場の声を聴いていただきたい。管理指導表の緊急時の連絡先が未記入のことが多いので、確実に記入していただきたい。そのために記載例をつけてほしい。文字が小さいので、字を大きくしてほしい。アレルギー食器は自校で買えないので、アレルギー用のランチ皿を提供していただきたい。

(事務局) アレルギー用のランチ皿については、今は検討していない。一般の食器の交換も進んでいない状況なので、試算してみて検討はしてみる。

(事務局) 管理指導表については情報量が多く、これ以上字を大きくするのは難しい。記入例については前向きに検討していく。

(委員) 緊急連絡先については、もしかするとあえて書いていないかもしれない。長岡市はすべて「119」になっている。カルテなどの情報があるところの連絡先を書けばいいと思うが、書いたらすべて引き受けないといけないと思うと書きづらいのかもしれない。

(委員) ①かかりつけ②市民病院などと2つ書く場合もある。

～ 議事終了 ～

(事務局) 本日の内容を学校等に伝達し、アレルギー対応が適切に行われるよう徹底していく。